



広報

# なほ

市民の友

第645号 毎月1回発行  
2004年(平成16年)  
10月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷㈱

市の人口と世帯	
※( )内は555外国人	
2004(平成16)年8月末現在	
総人口	312,393(1,911)
男	151,106( 996)
女	161,287( 915)
世帯数	124,716(1,121)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	90,215
真和志	105,449
首 里	58,995
小 祿	55,823



## 「広報なほ市民の友」は 私たちがお届けしています。

### 元気ハツラツ！ ちゃーがんじゅう

9月20日は「敬老の日」でした。市内には、100歳以上の方が147人(男22人・女125人)いらっしゃいます。なかには、介護を受けずに元気に生活している方もいらっしゃいます。

元気に長生きできる秘訣はなんでしょうか。

多くの高齢者が働く、「那覇市シルバー人材センター」では、60歳以上の約1100人の方が登録し、自分に合った特技や経験を生かした仕事をしています。

最近では、旧暦7月7日の墓の草刈やくつ箱作成などの大工仕事ときには首里城の観光ガイドも引受けています。この広報紙もシルバー人材センターの118名のみなさんの手で直接、各家庭まで配付されているのです。

当センターで働くみなさんを見てみると、全員が活き活きと仕事に取り組んでいます。高齢者と呼ぶには少し失礼なくらいお元気です。

いくつになっても現役で働くことが一番の長寿の秘訣なのかもしれませんね。

#### 主な紙面

- 2 末吉公園フィールドマップ
- 3 那覇市の職支援
- 4 〇み減量25.8%達成をめぐりして
- 5 市職員の給与・職員数のあらまし
- 6 情報PACK
- 7

## 市長談 TAIDAN 18



ふてんま ちよくせい  
普天間 直精  
漁業

昭和7年生まれ。旧住吉町出身。12歳の時に十空襲を受け父が重傷。14歳から一家を支えるため父の漁業を継ぐ。現在、垣花肥龍船保存会会長。

翁長雄志市長 那覇を一日にして灰塵に帰した十・十空襲から今年で60年を数えます。その事実を市民のみなさんが後世に伝えてほしいと願っています。普天間さんは、小学生の頃に空襲を体験されたとお伺いしました。

普天間直精さん 当時は小学6年で

した。朝、学校に行く準備をしていたらドラム缶を転がすような大きな音がしたので外に出ると、北の方角から飛行機が編隊を組んで飛んできました。二手に分かれた飛行機は、港と飛行場の方へ飛んでいき、はじめは訓練かと思っていましたが、突然、激しい爆撃がはじまり街や港が火の海になりました。そこではじめて戦争が始まったことを知り

りました。家族5人で屋敷の庭に掘っていた防空壕に隠れ、そのあと空襲がひどくなり、小祿・田原の壕に隠れました。漁師の父は海に出ていて、爆弾を落とされたタンカーの木片が全身に突き刺さり大怪我をしたとの連絡を聞き、幼かった私は火の海となった街を裸足で必死になつて探しまわりました。一週間後、

識名で収容されていることを知り、全身包帯の痛々しい父に会うことができました。

市長 小学校6年の多感な時期に、たいへん恐ろしい体験をされたんですね。そのときの那覇はどのような状況でしたか。

### 記憶に残すことが大切

市長 このような状況の中で那覇は復興していきました。その事実と先人達がこれまでに築いた苦勞を若者たちが理解して、平和を引き継いでいただきたいと思えます。

普天間 子どもや孫たちにも戦争の話をするのですが、事実として感じてくれない、ただの「昔話」にしか思ってくれません。「昔話」であろうが、話すことで記憶に残すことが大切だと思います。

市長 私も子どもの頃は実感はなかったと思います。親になり様々な経験をとおしてはじめて感じるようになりました。あらためて伝えていくことの大切さを認識できました。ありがとうございます。



本紙は「カラー・バリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。  
☎862-9942 秘書広報課

100 再生紙を使用しています。